債務承認弁済契約書

債権者（甲）　氏名　　◯◯　◯◯　　　　　　　印

住所　　◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

債務者（乙）　氏名　　　◯◯　◯◯　　　　　　印

住所　　　◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

連帯保証人（丙）　氏名　　　◯◯　◯◯　　　　　　印

住所　　　◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

甲、乙および丙は、次の通り債務承認弁済契約を締結した。

第1条　（債務の確認）

平成◯◯年◯月◯日現在、乙は甲に対し、平成◯◯年◯月◯日に締結した金銭消費貸借契約に基づく借入金債務として、金◯◯◯円 の債務を負っていることを確認する。

第2条　（返済方法）

乙は、甲に対し、前条の借入金金◯◯◯円を平成◯◯年◯月◯日までに甲方に持参または送金して支払うこと。返済に関する交通費および手数料等は乙が負担する。

第3条　（利息）

利息は元金に対し年◯◯パーセントの割合とし、元金と同時に支払う。

第4条 （遅延損害金）

期限後または期限の利益を失ったときは、以後完済に至るまで、乙は甲に対し、残りの元金に対する遅延損害金を、年◯◯パーセントの割合により支払う。

第5条　（他の債務の確認）

甲と乙の間には、本契約書に定める以外に何らの債権債務のないことを確認する。

第6条 （期限の利益の喪失）

乙について、次の事由のうちいずれかが生じた場合は、甲からの通知・催告がなくても乙は当然に期限の利益を失い、ただちに元金と利息 を支払う。

1. 第2条の元金または第3条の利息の支払いを1回でも怠ったとき。
2. 他の債務について仮差押、仮処分または強制執行を受けたとき。
3. 他の債務につき競売、破産または民事再生の申立を受けたとき。
4. 振出、裏書または保証した手形・小切手が不渡りとなったとき。
5. 税金の滞納処分を受けたとき。
6. 甲に通知せずに、住所を移転したとき。

第7条　（連帯保証人）

丙は、乙の甲に対する債務を連帯して保証する旨約束し、乙と連帯してこれを支払う。

上記の債務承認弁済契約を証するため、本契約書3通を作成し、各当事者 署名押印のうえ、各1通を所持する。

平成◯◯年月◯日